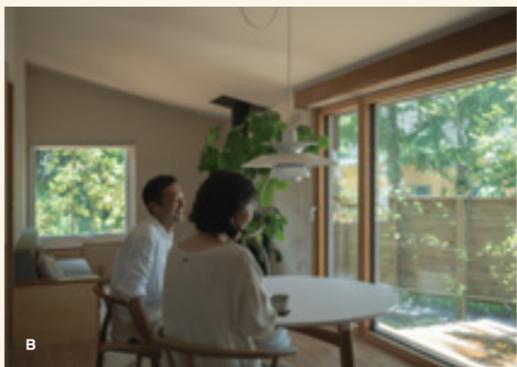


空間の広がりをもたらし  
19坪の豊かな住まい

木のぬくもりに包まれ、  
清々しい緑に癒やされる。  
太陽の光や鳥のさえずり  
雨風さえも愛おしい。  
自然と調和した住まいにある  
満ち足りた暮らし。



A\_ペンダントライトはポール・ヘニングセンの「PH5」。シルエットが独特の美しさを放つ。 B\_木と緑、澄んだ空気に包まれた「質のいい暮らし」を満喫中のご夫妻。「二人でこの家とともに元気に年齢を重ねていきたい」と奥様。 C\_リーススペースは在宅で働く奥様が主に使用。緑を見ながら仕事がしたいと、この場所にあつらえた。大きな造作棚もあり収納も十分。 D\_外壁にはスギを使用。年月を経て木の色がシルバークレーへと変わっていく、自然の経年美化も楽しみ。



た。木のぬくもりや澄んだ空気など、五感に響く心地よさが印象に強く残ったといえます。また暖かい家が大前提だったご夫妻にとって、断熱・気密性能が数値で明確に示されていた点も安心でした。

暮らし始めて1年。家づくりは「ほぼお任せ」だったそうですが、その快適さに日々感謝しているそう。「設計の小嶋さんが、生活スタイルや価値観、趣味嗜好までしっかり汲み取ってくくださったので」と奥様。さらに、家の中だけでなく、周辺の自然までも住まいの一部として取り込んでくれたことが、何より嬉しいと微笑みます。

実は、信州の気候や豊かな緑は、県外出身のご夫妻が長野県での定住を決めた理由の一つでもありました。たとえば、ウッドデッキを介して外とつながる室内では、

どこにいても自然の風景を身近に感じることができます。「あまりに景色と馴染んでいるので、家の中に居てもまるで外のような感覚で過ごせます。室内が快適すぎて、外に出た瞬間、中との気温差に驚くこともしばしば」とご主人が笑います。奥様も「我が家の象徴は、この緑と木と太陽なんですよ」。

こうしたK邸の心地よさの背景には「土地をどう読むか」という設計者の視点が大きく関わっています。一見抜いづらい三角の敷地を、L字型のプランとすることで最大限に生かせる、と考えた小嶋さんの狙いどおり、19坪でも心身ともに満たされる豊かな暮らしが実現しています。

「平凡だけれど幸せ」と口を揃えるご夫妻。この家とともに、この先も暮らしを慈しんでいけたら、と穏やかに語ってくれました。

周囲の緑を取り入れた  
開放感あふれる空間で  
素直に、穏やかに暮らす

信州カラマツと塗り壁に包まれたナチュラルで落ち着きのある空間。リビングの真ん中には奥様を選んだ北欧家具のテーブルと2脚のチェアがその佇まいは、この家に流れる静かで穏やかな日々を物語っているかのようです。

この家に暮らすのはご主人と奥様。延床面積19坪と決して広くはないものの、お二人にとっては「ジャストサイズ」。「すべてがベストな選択でした」と微笑む奥様の言葉に満足感がにじみます。理想としたのは、無駄を省いたシンプルな暮らし。だからこそ重視したのが、素材や性能、機能性という家そのものの質でした。「結局それが住みやすさにつながるんですね」とご主人も頷きます。

K邸を手がけたのは、土地探しから伴走してくれた「しなのいえ工房」。ビルダー探しでは、新築の住宅会社だけでなく中古やリノベーション物件まで、多くの選択肢を検討したお二人。同社に決めたのは、他社に比べて際立っていたという「空気感」でし





**K** ウッドデッキで会話がはずむご夫妻と小嶋さん。ご主人は、その技術者としての率直な物言いに、「この人なら信頼できる」と確信したそう。 **L** 三角形の変形土地という難しい条件を逆手に取り、L字型の平屋を提案。外からの視線を上手にかわしつつ、建物をコンパクトにまとめることで、庭をつくるゆとりもできた。



**E** 料理好きな奥様による自家製の梅酒。爽やかな香りが広がると、それだけで豊かな気分。 **F** 鍋の収納スペースは、扉をつけずあえて見せるスタイルに。使用后すぐにしまえるのが便利だそう。木とステンレスの質感も相性がいい。 **G** 造作のソファに座って緑を愛でたり、薪ストーブの炎を眺めたり。ここがK邸の特等席。 **H** 使い勝手のいいL字型のキッチン。窓をつけたことで自然光が差し込み、明るさをプラス。壁面のタイルもアクセント。 **I** 窓には熱の出入りを抑えるハニカムサーモスクリーンを採用。すっきりした印象で手入れしやすいのが特長。 **J** 「狭さを感じにくいのは、勾配天井のおかげかも」と奥様。塗装で仕上げられた廻り縁のないすっきりとした寝室にいと、気持ちまで休まるという。

### 三角形の土地を生かした 夫婦二人のあたたかな住まい

Kさん 三角形の土地でも、こんなに素敵なお家が建つんだなあと感激しています。

小嶋さん 建築が難しそうな土地も、観察と工夫次第で利点に変えられると思っています。19坪の暮らし、いかがですか？

Kさん 無駄がなく掃除も楽。便利で住みやすいと実感しています。狭さは全く感じません。平屋を提案してくださったのも大正解でした。小嶋さん 賃貸暮らしでは寒い思いをされたそうですが、この冬はどうでしたか？

Kさん 見学会で暖かさを体感していたので、全く心配していませんでした。賃貸では床の冷たさがこたえて、スリッパなしでは過ごせませんでした。今は信州カラマツの床なので、夏はさらっと、冬も肌に馴染んで気持ちがいい。しかも断熱性に優れた家なので、冬でも素足で過ごせるほど暖かい。今では冬が好きになりました。

奥様 外から帰った時、家の中が暖かいだけで嬉しくて。朝も寒い思いをせず、気分よく起きられます。ああ、1日が始まるなあって毎朝幸せをかみしめています。

#### PLAN



#### DATA

敷地面積	236.75㎡	(71.47坪)
延床面積	64.59㎡	(19.50坪)
1F面積	64.59㎡	(19.50坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:ヒノキ3.5寸、梁:カラマツ、土台:ヒノキ 断熱材/屋根:吹き込み用グラスウール400mm、壁:高性能グラスウール105mm+105mm、床:高性能グラスウール105mm+90mm

主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板立平葺き、外壁:スギ(目地なし)縦張り+ノンロット塗装仕上げ 主な内装仕上げ/天井・壁:塗装仕上げ、床:信州カラマツ 開口部/木製サッシ:スマートウイン、樹脂サッシ:トリプルシャノンIIx キッチン/オリジナル造作キッチン キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/タカスタンダード GRANSIPA 暖房の種類/エアコン・薪ストーブ C値/0.6、UA値/0.22



shinanoie.com

